

## V 研究活動と研究環境

### 1 専任教員の教育・研究業績

(表24)

所属 英語観光学科	職名 教授	氏名 石原 敬子	大学院における研究指導担当資格の有無 (無)
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年月日	概要
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)			
オンラインツールの活用	2020(令和2)年度	授業がオンラインか対面かに関わらず、また教室での指示の有無に関わらず、課題の提示をClassroomで行うようにした。そうすることで、欠席の学生や課題を忘れがちな学生が自分で確認することができた。またClassroomで回収する課題については、提出期日に欠席等により提出し忘れる割合を下げることに繋がった。また、オンライン授業期間も対面授業期間もzoomのブレイクアウト機能を活用し、オンライン受講学生も含め、学生が互いに意見交換できる機会を作るようにした。	
授業後の復習クイズ課題と授業冒頭での振り返り	2020(令和2)年度	復習クイズをスマホでも取り組めるシステムにすることで、取り組みやすくした。また毎回同様のクイズを課すこと及び翌週の授業冒頭で間違いの多かった箇所等のポイントを押さえることにより、学生自らが理解度の向上を確認できるようにした。	
名言の暗唱	2017(平成29)年～現在	コア・イングリッシュ科目の授業のウォームアップとして、指定された名言(教員又は学生が提示)のディクテーション、音読、暗唱を行った。音読をする際に英語の音声的特徴の基礎について繰り返すことで、英語のリズムを意識するようになったという学生も複数いた。	
英語学習記録	2016(平成28)年～現在	コア・イングリッシュ科目の最初の授業時に学期中の目標設定をさせた上で、毎週、その1週間の英語学習記録を書かせ、翌週にフィードバックを返した。各自のモチベーションを維持したり英語学習に関する疑問に答えたりする場とした。	
音読練習成果の可視化	2016(平成28)年～現在	Pronunciationの授業において、各回に扱う素材を「練習前」「練習後」に分けて音読し、その速度を記録していった。素材により成果の幅は異なるが、各学生がそれぞれのレベルで練習成果を実感することができた。	
TOEIC関連語彙のテスト (毎週)	2015(平成27)年～現在	演習(3年次)の時間に毎時間TOEIC関連語及び例文を覚える課題を与え、翌週に小テストを実施する。解答確認は各自でさせ、その後全体で語彙・例文を音読する。音声的学習によりTOEICの力を上げることを目的としている。	
2 作成した教科書、教材、参考書			

『TOEIC L&Rテストでる模試 リスニング700問』（ハッカーズ語学研究所著，アスク出版）	2017(平成29)年1月出版	韓国で語学教育において高い指示を受けるハッカーズ語学研究所の著書の日本での出版にあたり、TOEICリスニング問題の一部を英和翻訳した。
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
神戸自立学習研究会主催特別セミナー	2019(平成31)年3月31日	学習塾に通う中高生対象のセミナー(120分)。英語と日本語の発音の違い、英語の音声的特徴の基礎について実践的に練習をした後に、簡単な設問に対して英語で回答する練習をした。
国際英語発音協会主催「英語発音指導者のための指導法セミナー」	2019(平成31)年1月20日	学習者が求めていること、指導者に必要なことや各参加者の課題についてのブレインストーミングから始め、2時間の間に、英語発音またその指導におけるポイントを解説しながら、最初に挙げられた課題や質問について解決していきけるようにした。(2時間・於 大阪)
神戸自立学習研究会主催特別セミナー	2018(平成30)年8月6・9日	学習塾に通う中高生対象のセミナーで、90分授業を2回実施した。1日目は英語と日本語の発音の違い、2日目は英語の音声的特徴の基礎について、英検準2級相当の素材を用いて実践的に学べるようにした。
神戸海星サマースクール 小学校英語実践講座・免許状更新講習「A. 英語運用力講座(小学校英語活動に役立つ発音トレーニング)」	2018(平成30)年8月22日	日本語として日常的に使用されるカタカナ語と実際の英単語との音を比較し、リズムの違いや発音の違いを観察したり、英語の発音を示すためのカタカナの使用について考察した。またナーサリー・ライムを用いてリズムの違いを確認した上で、教室で使用する英文をリズムを付けて言う練習をしたり、フォニックス理論を用いた活動例を紹介したりした。
神戸海星サマースクール 小学校英語実践講座・免許状更新講習「A. 英語運用力講座(小学校英語活動に役立つ発音トレーニング)」	2017(平成29)年8月16日	同上
神戸海星サマースクール 小学校英語実践講座・免許状更新講習「A. 英語運用力講座(小学校英語活動に役立つ発音トレーニング)」	2016(平成28)年8月17日	同上
4 その他教育活動上特記すべき事項		
合唱曲の英語歌詞翻訳	2019(令和元)年10月～ 2020(令和2)年1月	3年次演習クラスで「しあわせ運べるように」(臼井真 作詞・作曲)の歌詞の英語版翻訳に取り組んだ。日本語と英語との言語的・文化的な違いに気づき、理解する機会となった。英語版は、2020年1月開催の災害復興支援コンサートにおいて海外の合唱団により初演され、その様子は朝日新聞(2020年1月20日朝刊)にも取り上げられた。また作曲者の臼井氏には、自身が作曲した時の思いが表現されていると評価された。
日本英語検定 1級合格	2017(平成29)年2月	下位級においても4技能試験として変わりつつある英検を受験。TOEIC Listening & Readingとの違いを分析する機会となる。(Writing及びSpeakingに課題が残る)

県立高校におけるTOEIC対策講座（講師）	2016(平成28)年1月～3月（3日間）	県立西宮北高等学校からの依頼により、高校2年生（30名）対象に3コマのTOEIC対策講座を実施した。TOEICテストの特徴及び講座終了後の学内TOEICに向けた学習方法、今後継続して英語学習をする上でのポイントについて講義をした。
第13回TOEIC®テストスコアアップ指導者養成講座（参加）	2016(平成28)年2月20日 - 21日、3月5日-6日（4日間）	アルク本社で実施されるTOEIC指導者養成講座。参加資格が「TOEIC900点以上またはTOEIC指導歴がある者」であるため、その道のプロが多く参加しており、質の高い刺激的なセミナーである。模擬授業やグループ討議等を通して多くのことを学んだ。セミナー終了後も、特に2016年5月から実施される新形式テストについて情報交換及び勉強会を継続している。

## II 研究活動

著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦でも可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	該当頁数
著書					
論文					

## III 学会等および社会における主な活動

国際英語発音協会主催「英語発音指導法セミナー」（2019(平成31)年1月20日）	（I-3に記載）
国際英語発音協会主催「英語発音セミナー」（2016(平成28)年9月10日）	「より英語らしく読むために必要なこと」と題して、相手に伝わり易い英語を発話する上で知っておいた方がよい音声的ポイントについて理論的に講義し、参加者に実践してもらった。（1時間45分・於 大阪）
つなぎすとサロン主催「英語発音セミナー（3回シリーズ）」（2016(平成28)年5-8月）	一般向けの連続講座（各回90分完結）として、連続性と発展性、かつ単発参加でも理解できる内容を考慮し、参加者が学習しやすいように工夫した。①「英語発音の基礎を確認する」、②「徹底的に英語のリズムにこだわる」、③「抑揚でいろいろな気持ちを表現する」